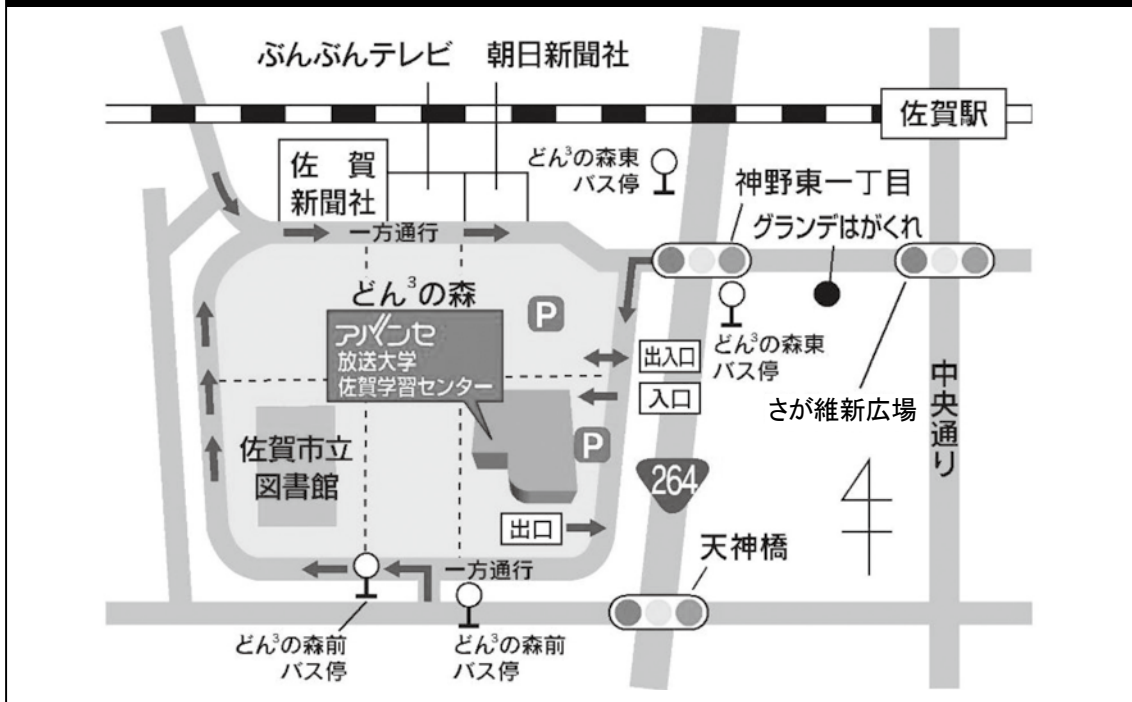


佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11
(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

●JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「さが維新広場」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【自家用車ご利用の方】

●駐車場

アバンセ北側の駐車場(無料)をご利用ください。利用時間は、(火～土)8:30～22:00、(日)8:30～17:00です。利用時間外は施錠されます。その他、駐車場に関する件は佐賀学習センターにご連絡ください。

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2678039	授 業 概 要	【授業内容】 韓国語の入門を終えた人（ここでは文字の読み書きができることを目安とします）、またはもう一度しっかり初級から学び直したい人のための授業です。短時間で、速く、できるだけ楽に、韓国語の基礎が身につくように指導します。とにかく楽しくわかりやすい授業を目指します。会話中心の授業です。受講生同士の会話練習が多いです。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 ・韓国語で簡単な自己紹介ができる。 ・韓国語で簡単な日常会話ができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 韓国語の「てにをは」 第2回 韓国語の「いち、に、さん」 第3回 韓国語の「ひとつ、ふたつ、みっつ」 第4回 これは何ですか？ 第5回 私は会社員です。 第6回 【ハムニダ体】大丈夫ですか？ 第7回 【ヘヨ体】韓国語を習います。 第8回 【尊敬表現】韓国の方でいらっしゃいますか？
科目名	楽しい韓国語（初級編）		【学生へのメッセージ】 韓国語は発音も文法も日本語に近いので、最も学びやすい外国語です。短時間で楽しく基礎を身につけることが可能です。会話中心の授業です。受講生同士の会話練習が多いです。ぜひ一緒に韓国語の会話を楽しみましょう。
科目区分	基盤科目：外国語		【受講前の準備学習等】 ・韓国語の文字の読み方、書き方を忘れていないか事前に確認し、忘れてい る場合は復習をしておいてください。 ・教科書の内容に沿って予習をしておいてください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	24名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香 梨 佐賀大学 国際交流推進センター教授		【教科書】 ・ゼロからはじめる 韓国語書き込みレッスン（キム・スノク／アルク／ ¥1,870／ISBN=9784757433786）
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月19日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 会話中心の授業です。受講生同士の会話練習が多いです。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2678128	授 業 概 要	【授業内容】 19世紀末から20世紀初頭にかけて、放射線の発見に始まり量子力学の構築が行われ、原子レベル以下のミクロな世界の理解が急速に進展しました。 本講義では、この歴史を振り返りつつ、現在の素粒子物理学についての知識の一部を紹介します。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 受講者は、以下の知識と理解を得ること。 ・原子レベル以下の知見を獲得してきた歴史を知ること。 ・素粒子の標準理論の基本的構成要素を説明できること。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 原子の構造(電子、原子核の発見) 第2回 量子力学と相対論(量子力学の概要と特殊相対論) 第3回 素粒子物理学の進展(加速器以前) 第4回 素粒子物理学の進展(加速器以降) 第5回 4つの基本的相互作用(様々な保存則と相互作用、素粒子の分類) 第6回 素粒子の標準理論 その1(電弱統一理論、量子色力学) 第7回 素粒子の標準理論 その2(小林・益川行列、ヒッグス粒子) 第8回 未解決問題(物質の起源、ニュートリノ質量、暗黒物質、その他)
科目名	素粒子物理学入門		【学生へのメッセージ】 特に必要ではありませんが、高校レベルの数学と物理学の知識があれば、理解の助けになります。
科目区分	専門科目:自然と環境		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。
ナンバリング	310		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		【教科書】 教科書は使用しません。
担当講師	フナクボ コウイチ 船久保 公一 佐賀大学理工学部教授		【参考書】 ・宇宙と物質の起源「見えない世界」を理解する(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所(編)/講談社(ブルーバックス)/¥1,320/ ISBN=9784065351918) ・現代素粒子物語(中嶋彰/講談社(ブルーバックス)/¥1,078/ ISBN=9784062577762) ・素粒子物理学ハンドブック(山田作衛 他/朝倉書店/¥19,800/ ISBN=9784254131000) 現代の素粒子物理学で使われる項目について、専門家が個別に解説したもので、辞書的に使えます。
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 10月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2678098	【授業内容】 「文禄・慶長の役」の際の本営として豊臣秀吉が整備した肥前名護屋は、史上最大の軍事基地であり、莫大な兵站物資の集積地として都市的繁栄を遂げ、一時期は国政の中枢をも兼ねました。この授業では実際にその現地（唐津市鎮西町）に赴き、歴史の舞台に立って往時の遺構を目の前にしながら朝鮮出兵の実態を探っていきます。 【到達目標】 朝鮮出兵の経過・概要とあわせて、名護屋城・大名陣所・城下町から構成される巨大軍事基地「名護屋」の特徴について理解し説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 真説・朝鮮出兵No.1（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第2回 真説・朝鮮出兵No.2（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第3回 巨大軍事基地「肥前名護屋」の構成－大名陣所の集合体－（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第4回 フィールド・スタディ－No.1 大名陣跡の踏査－真田昌幸陣・蒲生氏郷陣・足利義昭陣など－ 第5回 秀吉の巨城・名護屋城の実態（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第6回 城下町の発生とその景観（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第7回 フィールド・スタディ－No.2 特別史跡「名護屋城跡」見学 第8回 フィールド・スタディ－No.3 佐賀県立名護屋城博物館見学 【学生へのメッセージ】 豊臣秀吉に関する基礎情報を持っていると、授業の理解度が向上します。書籍やインターネット、中学・高校の教科書などで予備知識をつけておいてください。 【受講前の準備学習等】 「学生へのメッセージ」をご覧ください、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具類を持参してください。フィールド・スタディが多いので、歩きやすい服装・履物・帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・肥前名護屋城の研究－中近世移行期の築城技法－（宮武正登／吉川弘文館／¥13,200／ISBN=9784642029605） 【その他（特記事項）】 ・2日間の昼食代1,700円、少年の家宿泊利用の場合は別途2泊（金・土）5,200円、1泊（土）2,600円（1泊2食付・部屋代・シーツ代含む）が必要です。授業当日に集金します。 ・交通費は個人負担となります。 ・詳細は科目登録決定後、受講者へ通知します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	軍事都市 「肥前名護屋」を探る	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタケ マサト 宮武正登 佐賀大学 地域学歴史文化研究センター教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀県波戸岬少年自然の家 (佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1)	

科目コード	2674653	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	WAKABAを 解体してみよう	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	【到達目標】 コンピュータ・ソフトウェアの使いやすさを評価するために、ソフトウェア工学で使われている図式表現の方法について理解し、使えるようになることで、ソフトウェアが提供するサービスを利用する人々の期待と、実際に提供されるサービスの利用場面とを比較できるようになる。
定員	25名	
担当講師	中谷 ^{ナカタニ} 多哉子 ^{タカコ} 放送大学教授	【授業テーマ】 第1回 はじめに：「放送大学の学生」とは何者か ～状態とイベントを用いて可視化する～ 第2回 作業の流れを可視化する方法～科目検索作業を可視化する～ 第3回 WAKABA解体（1）～WAKABAにおける面接授業の履修登録作業を可視化し評価する～ 第4回 WAKABA解体（2）～WAKABAにおける様々な授業の履修登録作業を可視化し評価する～ 第5回 情報の構造を可視化する方法（1）～データベースの正規化／「学生」「科目」「履修」の構造：オブジェクト編～ 第6回 情報の構造を可視化する方法（2） ～「学生」「科目」「履修」の構造：クラス編～ 第7回 WAKABAで取り扱われている情報の構造を可視化する 第8回 まとめ～可視化、WAKABAの解体、そして評価～
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月2日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	【学生へのメッセージ】 身近な情報システムを解析するための技術があることを理解し、客観的にシステムを評価できるようになることを目指してください。情報を図式を用いて可視化する技術は、グループ内でのディスカッションを行いながら、使ってみるところから、使いこなせるようになるまでを目指しましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 放送大学システムWAKABA→キャンパスライフ→学内連絡→附属施設・情報システム→【システムWAKABA】学生用マニュアルをダウンロードし、zipファイルを解凍した後、以下の箇所に記述されているシステムWAKABAの操作方法を確認しておいてください。 ・1.基本操作編P.1-1～1-5 ・4.教務情報編P.4-2～5、4-31～40 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 各自のパソコンを持参してください。ここでパソコンとは、ブラウザを使ってインターネットにアクセスできるパソコン、またはタブレット端末を指します。ただし、この授業は、パソコンのディスプレイの大きさが10インチ（幅20cm、高さ15cm位）以上であることを想定して行います。授業ではWAKABAにログインします。スマートフォンは授業中の演習に不適です。 2. 推奨OS Windows11、macOS、iOS、Android（モバイル端末での対応に適しています。） 3. ソフトのインストール 推奨ブラウザは、Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safariです。 4. その他 資料は持参のパソコンで見ることができますので、配布しません。必要であれば、印刷してご持参ください。 授業ではWAKABAにログインします。IDとパスワードを確認しておいてください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・UMLモデリングのエッセンス第3版（マーチン・ファウラー、羽生田栄一監訳／翔泳社／¥2,640／ISBN=9784798107950） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにAC アダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 身体に障害をお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。

科目コード	2678101	授 業 概 要	【授業内容】 さまざまな美術作品（資料）を見ながら、支配・被支配、差別・被差別の問題について考えます。同性愛者、黒人、娼婦、乞食たちは社会の中でどのような位置に置かれてきたのかを、彼ら／彼女らのイメージを通して探ります。宗教や性に対する人々の考えや、「他者化」ということ、差別－被差別の問題について考えるきっかけになることを開講意図とします。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 西洋の古代から近現代までの歴史を社会の周縁に属した者たちの視線から見ることができるようになる。また、西洋美術史の大まかな流れと各時代の様式について理解を深めることができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 異性愛と同性愛の図像、宗教と性 第2回 異性愛と同性愛 第3回 黒人、白人、東方の人々① 第4回 黒人、白人、東方の人々② 第5回 物乞いたち① 第6回 物乞いたち② 第7回 娼婦（あるいはユダヤ人）① 第8回 娼婦（あるいはユダヤ人）②
科目名	美術史で辿る 差別・被差別		【学生へのメッセージ】 美術史が対象とするものは、博物館のガラスケースや台座の上に置かれている作品だけではありません。私たちのまわりに溢れるさまざまな視覚的イメージ全てが美術史の対象となるといっても過言ではありません。 （本授業で取りあげる作品の中には、性暴力を含む性的なイメージが含まれます。）
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 高校までに学習する日本史と世界史の流れを復習しておいてください。また、教科書や参考書を指定しませんので、キーワードやキー概念となっているものを頼りに各自で文献を検索したり、ネットで情報を収集したりしてみてください。
ナンバリング	320		パソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。学習センターの無線LANに接続する場合はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	ヨシズミ マコ 吉住 磨子 佐賀大学 芸術地域デザイン学部教授		【受講者が当日用意するもの】 筆記具、タブレットなど、ノートをとれるもの。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月9日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		【教科書】 教科書は使用しません。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2678063	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。 今ではたくさんの薬が開発され、多くの病気を治せる世の中になりました。日本国内で使われている薬の数は約2万5000品目あります。しかしそれでも重い病気に罹り、未だ適切な薬がなくて困っている患者さんも数多くいます。また昨今のコロナ感染症のように人類がこれまでに経験したことがない病気が突然、新たに出現し、世界的に拡散することもあるでしょう。本講義では最新のお薬に関する進歩をご紹介しつつ、この講義内容を明日、誰かに伝えたいくなるようなワクワクするようなテーマをまとめました。さあ、一緒に新しいお薬の世界の扉を開きましょう！
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	明日、誰かに伝えたいくなる薬の話	
科目区分	専門科目：生活と福祉	【到達目標】 ・講義を通じて得た薬の薬理作用について自分の「言葉」で論理的かつ系統立てて説明することができるようになる。 ・自分自身の考えや意見をまとめ、発表（プレゼン）することができるようになる。 ・日頃の生活において薬のニュースに対して興味を持ち、それらのトピックを深掘りして自分自身で学ぶことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 そもそもクスリって何ですか？（作用・副作用・西洋医薬品） 第2回 ここまで進歩して来たクスリの新しい投与方法（DDS・マイクロニードル） 第3回 血圧がちょっと高めのあなたへ（高血圧症治療薬） 第4回 糖尿病のクスリと痩せるクスリ（GLP-1作動薬・痩せ薬） 第5回 がん治療薬の最前線（化学療法・放射線療法・外科療法） 第6回 感染症治療薬の未来（新型コロナウイルス・インフルエンザ） 第7回 ホルモンに作用するクスリ（毛生え薬・抗がん薬） 第8回 将来に向けてあなたが考える今後のクスリの展望について 【学生へのメッセージ】 新しい薬の研究開発に終わりはありません。有効な薬がなくて困っている人々のもとへ、少しでも早く、良い薬を届けたいです。さて、あなたは新薬の開発者です。どのような薬を開発したいですか？各自、パソコン（PC）でパワーポイントを駆使し、プレゼンをして頂きます。使用するPCは、原則として各自のPCを利用する「自分用パソコン持ち込み方式」で授業を行います。「受講者が当日用意するもの」に注意してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自主学習に努めてください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポート（パワーポイント資料、A4サイズで5枚以内程度）の評点により行います。 なお、レポート課題は「今後、人類の幸せのために あなたはどのような新薬を創りたいですか？」についてです。
ナンバリング	310	
定員	24名	
担当講師	テラモト ノリヨシ 寺本 憲功 佐賀大学医学部教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月16日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	【授業概要】 【受講者の当日用意するもの】 1. 持参する端末 ・各自、ノートパソコン（PC）を持参してください。 2. OSの指定 ・種類は問いません。 3. ソフトのインストール ・Power Pointが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でのレポート提出になります。学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・セレンディピティと近代医学－独創、偶然、発見の100年（モートン・マイヤーズ（著）小林 力（翻訳）／中央公論新社／¥1,210／ISBN=9784122061064） ・「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス（戸田山 和久（著）／NHK出版新書／¥946／ISBN=9784140883655） ・冒険の書 AI時代のアンラーニング（孫 泰蔵（著）／日経BP／¥1,760／ISBN=9784296000777） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2668815	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 医療・教育・福祉などのほぼすべての領域で、クライアントと関わる際には、アセスメントツールの活用が必須となっています。各種の発達検査や心理評価尺度の中身や適用を正しく理解することが支援者にはもとめられます。本講では①パーソナリティーの理解のための描画法である「バウムテスト」、②IQや標準化の意味をしる適応行動全般の把握のための「Vineland適応行動尺度Ⅱ」、③メンタルヘルスや精神疾患のアセスメントツールである「STAI」と「BDI」を実施します。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業全てに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。グループ討議があります。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	30名	【授業テーマ】 第1回 心理アセスメントとは アセスメントツールの利用実態について 第2回 実習1「バウムテスト」 投影法について 第3回 「バウムテスト」 レポートの書き方 第4回 実習2「Vineland適応行動尺度Ⅱ」 検査場面の設定等について 第5回 Vineland適応行動尺度Ⅱの集計 数値化と標準化の意義 第6回 Vineland適応行動尺度Ⅱ・結果のフィードバックについて 第7回 実習3「STAI」「BDI」メンタルヘルス領域で用いられる心理尺度 第8回 まとめ
担当講師	ナカジマ シュンジ 中島 俊思 佐賀大学教育学部准教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	【学生へのメッセージ】 心理検査の習得には訓練と熟練が求められるものが多くあります。その中から8回の基礎実習によって、実際に使用できるものを取り上げます。個人作業、グループ討議、意見発表等、積極的に参加してください。
授業概要		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	【受講前の準備学習等】 心理検査における「信頼性」と「妥当性」について調べておいてください。他に、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】 心理検査や記録に筆記用具を使います。検査レポートは、最終的にパソコンのWordファイルで作成して提出してもらいますので、ノートパソコンを持参ください。 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 4. その他 マウスを持参してください。 ソフトのバージョン指定はありません。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・エッセンシャルズ 心理アセスメントレポートの書き方第2版（W.J.シュナイダー、E.O.リヒテンバーガー、N.メイザー、N.L.カウフマン著、染木史緒・上野一彦監訳／日本文化科学社／¥4,400／ISBN=9784821063802） ※一般書店での取扱いはありません。Amazonでの購入が可能です。購入は必須ではありません。
		【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2668769	<p>【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間の授業の中で、2つの実験の実施、測定、レポート作成を行います。実験では、ミュラー・リヤー錯視と情報伝達について取り扱います。体験的に実験について学び、理解をすることで心理学における実験の意義を理解することができる講義にしたいと考えています。 受講生の皆さんは原則として8回の授業にすべて出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。</p> <p>【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学的実験とレポートの構成 第2回 心理学の研究手法と論文について 第3回 実験実習1（情報伝達） 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 前日の振り返りと統計について 第6回 データ分析のための統計法 第7回 実験実習2（ミュラー・リヤー錯視） 第8回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験を実施するためにパソコンを使用します。ワードやエクセルの操作に慣れているほうが望ましいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 パソコンの操作に慣れていない方に関しては、練習していただけるとありがたいです。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 Windows 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いません。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	田中 沙来 人 九州龍谷短期大学 保育学科准教授	
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月7日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2678055	授 業 概 要	【授業内容】 今や、一種の家電のようになってしまったコンピュータですが、決して、何らかの仕事を手勝手にやってくれる「魔法の道具」ではありません。あらかじめ作り込まれた機構を、適切に制御することで、これらを実現しているのです。ここでは、その一連の流れをイメージできるように、まずはコンピュータの仕組みを概観し、数値をはじめとするデータの表現方法、基本的な情報処理を実現する回路について学びます。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 コンピュータの仕組みをイメージできるようになるため、数の表現方法と演算方法、それを実現する回路などについて学び、コンピュータの動作原理を理解したうえで、その概要を説明できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 コンピュータは4つの部分からなる：入力装置、記憶装置、演算装置、出力装置 第2回 コンピュータは手順に従って動く：プログラム 第3回 コンピュータは近似計算をする：有効桁数、二分法、桁落ち 第4回 コンピュータにおける数の表現：2進数、10進数、16進数 第5回 コンピュータにおける四則演算：加算・減算・乗算・除算、負の数 第6回 コンピュータを組み立てているもの：論理素子（AND・OR・NOT） 第7回 コンピュータにおける演算の実際：加算回路 第8回 情報通信技術（ICT）に関わる身近な話題
科目名	コンピュータの 秘密を解き明かす		【学生へのメッセージ】 ここでは、コンピュータの仕組みをイメージできるようになることを目指します。もし疑問点などがあれば質問して下さい。なお、自学自習の助けとなるように、敢えて教科書を指定しました。参考にして下さい。
科目区分	導入科目：情報		【受講前の準備学習等】 ここでは、指定した教科書の第2章、第3章、第5章（5.5-5.7を除く）を中心に上げます。これらの部分を、事前に読んでおいて下さい。斜め読み程度でも構いませんが、理解が困難なところを明らかにして、授業へ臨んで下さい。
ナンバリング	210		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポート（小テストを含む）の評点により行います。
定員	48名		【受講者が当日用意するもの】 インターネット検索などを織り交ぜて身近な話題を取り上げます。ご自身のパソコンやスマートフォンなどを使用されたい方は持参されて構いません。
担当講師	ワカバ ヒロシ 和久屋 寛 佐賀大学教育学部教授		【教科書】 ・新・コンピュータ解体新書 [第2版]（清水忠昭、菅田一博／サイエンス社／¥1,815／ISBN=9784781914091）
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月14日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 学習センターでの無線LANの利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照下さい。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2678071	授 業 概 要
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	子ども家庭支援の心理学基礎講座	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	310	
定員	24名	
担当講師	タグチ カヅコ 田口 香津子 アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)館長	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月21日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	
【授業内容】 子どもやその家族に関わる機会がある方々を対象に、基本的な心理学の知識と支援の在り方を学び直し、実際の支援のヒントを得るための講座です。前半は、ボウルビイの愛着理論、フロイトやエリクソンの発達段階、カール・ロジャーズの来談者中心カウンセリング、家族療法の基本を学びます。後半は、さまざまな事例を素材に、グループワークを交えながら支援のポイントを考えていきます。		
【到達目標】 子ども家庭支援に関する基本的な心理学の知識と支援方法について、その違いを踏まえて、概要を説明することができる。		
【授業テーマ】 第1回 自己理解演習 第2回 ボウルビイの愛着理論について 第3回 フロイトとエリクソンの発達理論について 第4回 カール・ロジャーズの来談者中心カウンセリングについて 第5回 家族療法を中心とした心理療法について 第6回 DV・虐待 暴力被害者の回復とは 第7回 DV・虐待 事例をもとに考える グループワーク(ディスカッションを含む) 第8回 まとめ(グループワーク・ディスカッションを含む)		
【学生へのメッセージ】 支援の基本に立ち返るチャンスでもあり、それぞれの現場で培ってきた臨床知を持ち寄りながら、新たなヒントを互いに得られるチャンスになればと思います。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		

科目コード	2678110	授 業 概 要
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	妖精とアイルランド・ケルト文化	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	キハラ マコト 木原 誠 佐賀大学教育学部教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月21日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	
【授業内容】 ヨーロッパ精神の古層にあるケルト文化、その名残を今も色濃く留めるアイルランド文化を妖精という切口で読み解いていきます。その際、比較文化の視点から、アイルランドの妖精と日本の妖精・妖怪・幽霊との比較によって、両文化の類似点、相違点などを深く理解することになります。		
【到達目標】 異文化理解の中の異界の世界を通し、文化の濃そうにある宗教観、美意識、死生観などを説明することができる。		
【授業テーマ】 第1回 アイルランドの妖精とは何か。妖精と妖怪と精霊の違いを学ぶ。 第2回 宮崎アニメのなかに表れるアイルランドと日本の妖精。 第3回 片足の靴屋、レプラコーンについて。 第4回 シンデレラは妖精である。 第5回 アイルランドの浦島伝説、『アシーンの放浪』の中の妖精。 第6回 アイルランドの妖精の歌姫、バンシーが現代音楽に与えた影響。 第7回 総括1 第8回 総括2		
【学生へのメッセージ】 異界の文化に興味のある方、歓迎します。		
【受講前の準備学習等】 宮崎駿の映画、『となりのトトロ』『千と千尋の神隠し』『もののけ姫』を観ておいてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		

科目コード	2678080	授 業 概 要	【授業内容】 佐賀県出身、あるいは佐賀経済とのかかわりが深い企業家（アントレプレナー）の、起業や経営再建といった経営活動に注目する中で、経営に関する理論および方法、そして地域貢献などについて学んでいきます。具体的には、旧佐賀紡績を大和紡績によって経営再建させていく鐘紡の武藤山治（1867-1934）、伊万里出身で森永製菓を創業する森永太郎（1865-1937）、蓮池出身で江崎グリコを創業する江崎利一（1882-1980）、北茂安出身でリコー三愛グループ諸企業を創業する市村清を取り上げていきます。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 起業や経営を行っていくために、経営の理論や方法について理解するとともに、設定した目標を達成するために取るべき戦略、組織の策定や経営資源の配置、マネジメント・サイクルの回し方、評価システムのあり方などについて、経営環境や目標の違いに応じて説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 日本的経営の祖・武藤山治が受けた教育や思想形成 第2回 武藤山治の鐘紡経営施策 第3回 武藤山治への旧佐賀紡績の経営再建依頼 第4回 武藤山治の経営再建対応 第5回 森永太郎の森永製菓の創立と地域貢献 第6回 江崎利一の江崎グリコの創立と森永太郎および彼の事業との関係 第7回 市村清のリコー三愛グループ諸企業創立 第8回 市村清の経営再建や地域貢献
科目名	企業家の起業や 経営再建		【学生へのメッセージ】 経営の理論や方法について、深く、そして広くみていく授業になりますが、人物に即して理解していきますので、興味深くかつわかりやすいと思います。
科目区分	専門科目：社会と産業		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	48名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヤマモト チョウジ 山本 長次 佐賀大学経済学部教授		
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 1月11日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2678136	授 業 概 要	【授業内容】 発酵は微生物の能力を生かした生産技術の一つです。どうして微生物は発酵現象を引き起こすのでしょうか？微生物の種類や特徴を学びながら発酵に関する理解をより深めましょう。また、お酒は微生物が発見されるずっと昔から我々の生活の密接に関わってきています。そのお酒を造る現場（蔵元）を見学して、微生物が持っている素晴らしい能力を感じてください。
学習センター(コード)	41A		【到達目標】 発酵食品と微生物の関係性を理解し、伝統的な発酵食品（飲料）である清酒製造の現場を体験することにより、「発酵」という現象の意味を説明できるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 微生物とは？（実施会場：アバンセ） 第2回 微生物と発酵の関係性（実施会場：アバンセ） 第3回 発酵食品その1（実施会場：アバンセ） 第4回 発酵食品その2（実施会場：アバンセ） 第5回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第6回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第7回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第8回 蔵元見学（実施会場：基山商店）
科目名	微生物による 発酵とは？		【学生へのメッセージ】 「発酵」という言葉はよく耳にしますが、その本質は何でしょうか？微生物が引き起こす様々な現象を「発酵」というキーワードを基に考えていきましょう。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 身近な発酵食品に関して調べておいてください。
ナンバリング	310		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、「微生物にとっての発酵とは何か？」です。
定員	20名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。
担当講師	コバヤシ ゲンタ 小林 元太 佐賀大学農学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 1月11日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【その他（特記事項）】 授業2日目は、基山商店で行いますので、現地集合、現地解散となります。利き酒をするので公共交通機関を利用してください。自家用車の方は利き酒はできません。 見学先：基山商店 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151 https://www.kihotsuru.com/ 交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
実施会場	1/10（土）は 佐賀学習センター アバンセ第2研修室 1/11（日）は 基山商店 (佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151)		